

「ロボット Sler 養成講座」 申込書

■下記の申込書に必要事項をご記入の上、E-mailで、10月9日(金)までにお申込みください。
 申込書確認後、弊社から請求書等をお送りいたしますので、到着次第、受講料をお振込みください。

■1社2名でご受講の場合は、お手数ですが申込書をコピーしてご利用ください。

【送り先】 E-mail : sier-info@sic-sagamihara.jp

企業名	氏名(フリガナ)
役職	年齢
住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	URL
システム自動化に関する経験・得意分野 (Sler 歴: 年)	
産業用ロボット特別教育 (受講済・未受講) / 使用したことのあるロボットメーカー ()	
応募の動機	
今回の養成講座で学びたいこと・期待すること	

※個人情報の取り扱いについて ・ご記入いただいた個人情報は、当さがみはら産業創造センターの事業に関する情報提供と参加者募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。
 ・個人情報は、取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。

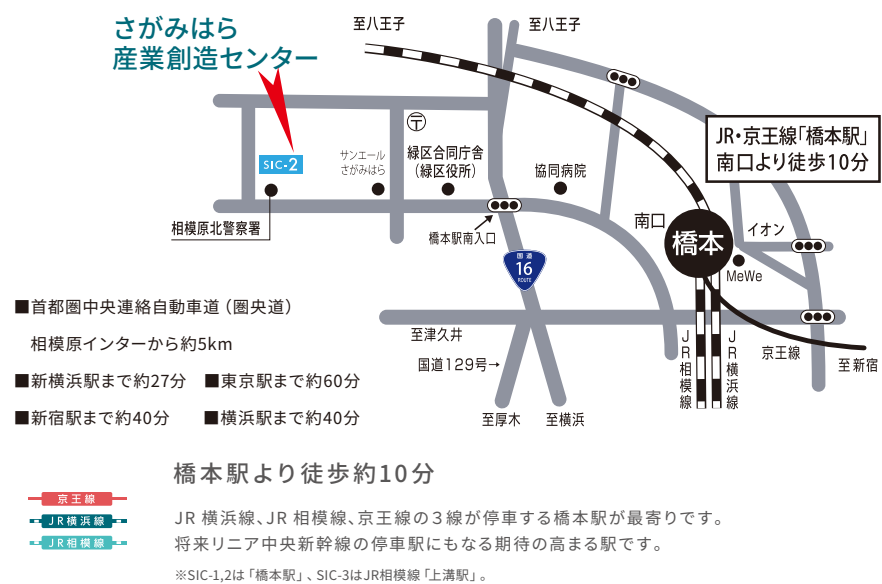
募集要項 ★相模原市外の企業様も応募できます★

- 【会期】 令和2年10月21日(水)～令和2年12月11日(金) <全10回>
- 【場所】 ・オンライン講座: web 会議ツール「Zoom」
 ・集合研修(一部): さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室 他
- 【対象者】 ロボット Sler(システム・インテグレータ)のノウハウを学びたい若手エンジニア
 自動機・FA等の開発エンジニア、またはロボットユーザー企業のエンジニア
- 【受講料】 市内事業者: 120,000円(税別)、市外事業者: 150,000円(税別)
 ※受講申し込み後、別途ご案内いたします。
 なお、開講日以降のキャンセル時は受講料の返金ができませんのであらかじめご了承ください。
- 【募集人数】 20名(1社から2名までの参加可) *先着順
- 【申込方法】 10月9日(金)までに、下記のURLの申込フォーム、E-mailいずれかの方法でお申込みください。
 URL: <https://www.sic-sagamihara.jp/robot/>
 E-mail: sier-info@sic-sagamihara.jp
 申込書確認後、弊社から請求書等をお送りいたしますので、到着次第、受講料をお振込みください。
 ※1社2名のご受講の場合、お手数ですが申込書をコピーしてご利用ください。
- 【注意事項】 ・本講座は、web 会議ツール「Zoom」等を利用して配信いたします。ご視聴 URL は別途ご連絡いたします。
 ・通信機器(パソコン・タブレット・スマートフォン等)をご用意の上、ご視聴いただく環境がインターネット接続されているかを事前にご確認ください。
 ・一部実施する集合研修については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施のうえ開催いたします。
 ただし、今後の情勢によって、延期・中止となる可能性があります。
 詳細は、お申込みいただいた方に別途ご連絡いたします。
- 【主催】 相模原市・株式会社さがみはら産業創造センター
- 【お問い合わせ】 さがみはらロボット導入支援センター(事務局: 株式会社さがみはら産業創造センター)
 担当: 佐々木、樽川、安藤
 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21
 TEL: 042-770-9119 / E-mail: sier-info@sic-sagamihara.jp

アクセス



〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21



コロナ対策オンラインセミナー

Slerとしての底力をUP!

ロボット Sler 養成講座

第4期

Sagamihara Robot System Integrator Training Program

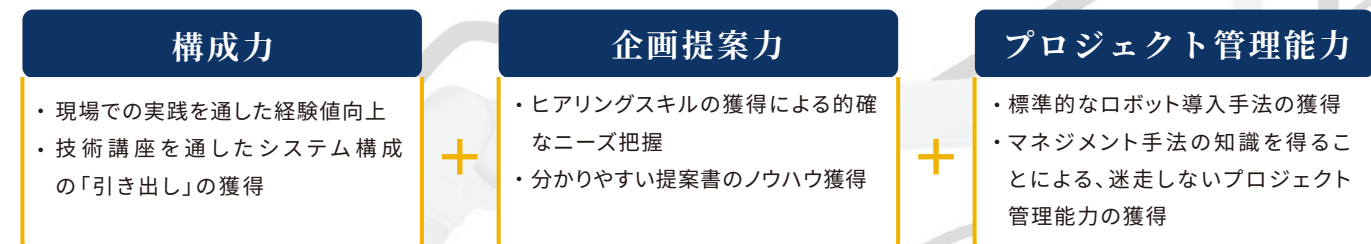
カリキュラム

前期	令和2年 10月21日(水) ↓ 10月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・オンライン時代の戦略的ヒアリング力とロジカルプレゼンテーション力 ・Slerケーススタディ「バリ取り工程の自動化」など ・課題解決グループワーク
中期	令和2年 11月16日(月) ↓ 11月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク中間発表 ・ロボットシステム導入を成功に導くプロジェクトマネジメント ※以下のカリキュラムについては、令和2年10月26日(月)以降、動画サイト等で限定公開予定です。受講申込された方には、別途詳細をご連絡いたします。 ・付加価値に着目したシンプルな設備設計 ・ロボットSlerのための安全講座
後期	令和2年 12月9日(水) ↓ 12月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・先進Sler企業webツアー ・先端技術講座 ・グループワーク最終発表

狙い・目的

第4期となる今回は、アクティブラーニングをベースにご好評を博した昨年度までの内容に加え、コロナ禍での開催を念頭に“ライブ配信”や“オンデマンド配信”を取り入れ、さらに受講しやすい形に進化しました。また、一部のカリキュラムでは本講座の特徴的な強みである「リアルな現場体験」も組み合わせた「ハイブリッド型」の講座で、ロボットSlerの広範囲にわたる業務プロセスについて効果的に学べる場をご提供します。

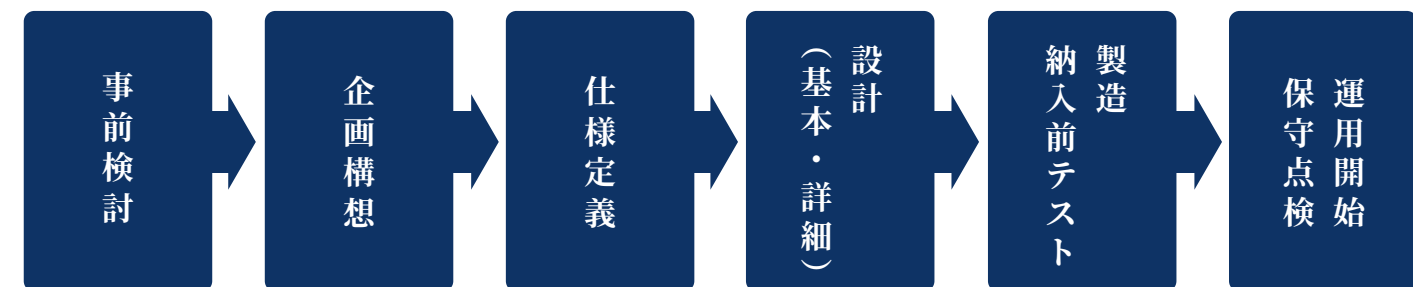
- 受講いただくメインターゲットを「若手エンジニア」とし、今後ロボットSlerとして活躍する中核人材を育てます。
- ライブ配信とオンデマンド配信を効果的に組み合わせた合計10日間の日程で、じっくり学んでいただけます。
- ユーザーの課題解決を図るシステム提案について、中間発表で外部評価の時間を設けることで、顧客との折衝を疑似体験し顧客に最適なシステムの提案手法を学びます。



ロボット Sler としての底力アップ！！

ロボット Sler の業務プロセス

ユーザーの課題解決という実案件を通し、Slerとしての技術・考え方を学ぶ **超実戦型プログラム！**



各講座はグループワークを中心に構成されており、参加者同士の新たなネットワークの醸成が期待できるほか、評価の高い提案はユーザー企業に採用される可能性もあります。

カリキュラム

前期	
令和2年 10月21日(水) 10:00-17:00	<p>(株)スタンコミュニケーションズ 松尾由紀子氏</p> <p>オンライン時代の戦略的ヒアリング力とロジカルプレゼンテーション力</p> <p>LIVE ライブ配信</p>
10月22日(木) 13:00-16:00	<p>課題解決グループワーク</p> <p>LIVE ライブ配信 + リアル参加 ※グループ代表のみ</p>
10月23日(金) 13:00-16:00	<p>(株)アラキエンジニアリング 荒木弥氏</p> <p>Slerケーススタディ「バリ取り工程の自動化」など</p> <p>LIVE ライブ配信</p>

各グループ検討期間

中期	
令和2年 10月下旬に動画公開予定 -質疑応答日程- 11月16日(月)15:00~16:00	<p>青山学院大学 松本俊之氏</p> <p>付加価値に着目したシンプルな設備設計</p> <p>REC 録画(オンデマンド)配信 ※ライブ配信の質疑応答あり</p>
11月18日(水) 10:00-17:00	<p>アイシン(株) 山本礼己氏</p> <p>ロボットシステム導入を成功に導くプロジェクトマネジメント講座</p> <p>LIVE ライブ配信</p>
10月下旬に動画公開予定 -質疑応答日程- 11月19日(木)13:00~14:00	<p>日本認証(株) 梶尾昌洋氏</p> <p>ロボットSlerのための安全講座</p> <p>REC 録画(オンデマンド)配信 ※ライブ配信の質疑応答あり</p>
11月20日(金) 13:00-16:00	<p>グループワーク中間発表</p> <p>LIVE ライブ配信 + リアル参加 ※グループ代表のみ</p>

各グループ検討期間

後期	
令和2年 12月9日(水) 13:00-16:00	<p>先進Sler企業webツアー</p> <p>LIVE ライブ配信</p>
12月10日(木) 13:00-16:00	<p>先端技術講座</p> <p>LIVE ライブ配信</p>
12月11日(金) 13:00-16:00	<p>グループワーク最終発表</p> <p>LIVE ライブ配信 + リアル参加 ※グループ代表のみ</p>

講師



株式会社スタンコミュニケーションズ
代表取締役
松尾 由紀子 氏

スピーチコーチ。国内外テレビ局での取材記者アナウンサーとしての経験から、ロジカルコミュニケーション、プレゼンテーションを専門に企業研修を実施している。対象は、会社経営者や国際オリンピック委員をはじめ、ビジネスマン、学生まで幅広く。対面やオンラインで効率よいコミュニケーションのスキルを伝えている。



青山学院大学 理工学部
経営システム工学科 教授
松本 俊之 氏

慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程管理工学専攻修了。現在は青山学院大学理工学部経営システム工学科教授。博士(工学)。専門はIE(Industrial Engineering)であり、「見る、観る、やってみる」を基本姿勢として、現場改善技術と教育システムの開発の研究にあっている。



日本認証株式会社
SA事業部 教育事業部 部長
梶尾 昌洋 氏

長岡技術科学大学 機械システム創造専攻修士卒業。在学時より研究として機械安全に取り組み、学内ベンチャーも立ち上げた。その後、外資系コンポーネントメーカーの営業を経て、日本認証入社後、機械安全に関する講習会講師を担当。国内外で年間50回以上の講習会/セミナーの講師を実施。コンサルタントとして製造現場の個別課題の解決にも対応。



前回までの養成講座・受講者の声

<p>業種: Sler 役職: 経営者 年齢: 40代</p> <p>中小企業は設計者でもユーザーと話す機会が多くコミュニケーションは重要なので勉強になった。社員教育としても良いと感じた。</p>	<p>業種: Sler 役職: エンジニア 年齢: 30代</p> <p>グループワークでの気付きは沢山あったが、いかに客先を知るか、現場でしっかりとヒアリングをする重要性に改めて気付かされた。</p>	<p>業種: 商社 役職: 技術営業 年齢: 30代</p> <p>他社、異業種のメンバーと意見交換することで、視野の広がりが知識の獲得といった成長に繋がった。また、プロジェクトを作り進めていくという経験ができ、非常に良い活動だったと感じる。</p>
<p>業種: 制御設計 役職: エンジニア 年齢: 40代</p> <p>通常ある程度仕様の決まったものをこなす業務が中心なので、上流工程での仕様定義の部分に関われたことは非常に参考になった。</p>	<p>業種: Sler 役職: エンジニア 年齢: 40代</p> <p>安全についてのカリキュラムを受講した際、今まで携わった案件を一から設計し直したほどの衝撃を受けた。</p>	<p>業種: Sler 役職: エンジニア 年齢: 30代</p> <p>グループ発表に対し、審査員の方から厳しいご指導やご助言をいただくことができ、勉強になった。課題が非常に頭を悩ませる題材でSlerとして頭を動かす良い訓練となった。</p>